



カタツムリはしめったところがなぜすきな

陸に上がった貝

カタツムリの仲間は、水辺から陸に上がった貝ですから、乾いた環境にはすめない生き物です。体から水気がなくならないように、ねばねばした液を出して体を包んでいますが、乾いた場所にはすめません。

湿度が65パーセント以下になると休眠する

カタツムリは湿度が65パーセント以下になると、殻の入り口に膜をはり休眠します。この状態になる前に、休眠に適した場所をさがし、土中3センチほどの深さにもぐり込んだり、落ち葉やかれ枝の下にかくれます。膜は最初は1枚ですが、寒さや乾燥が強くなると、2枚3枚と重ねて、寒さや乾燥を防ぎます。湿度が75～80%、温度が10～15度Cぐらいで、殻の膜を破って再び活動しはじめます。（監修・中山 周平）



膜をはって休眠するカタツムリ

